

# 建物の浸水想定深は

予想される浸水の深さ、お住まいの建物の高さによって、必要な避難行動に違いがあります。自分に必要な避難行動を知っておきましょう。

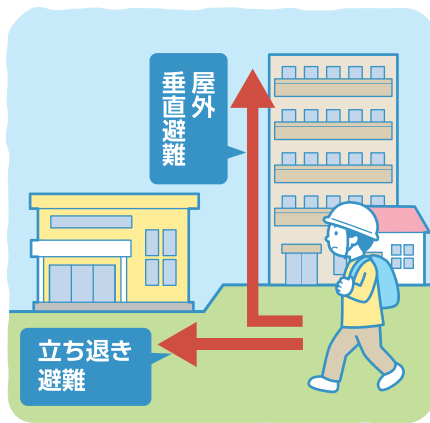
予想される浸水の深さ	建物の階層 (戸建て住宅の場合)	居住階 (集合住宅の場合)	避難行動
5m以上 (3階浸水)	4階建て以上 3階建て以下	4階以上 1~3階	屋内退避不可 早めに避難施設へ
3m~5m (2階浸水)	3階建て以上 平屋または2階建て	3階以上 1,2階	
0.5m~3m (床上浸水)	2階建て以上 平屋建て	2階以上 1階に居住	避難所へ避難 (立ち退き避難) 逃げ遅れたら 屋内退避・垂直避難
0.5m未満 (1階床下浸水)	全ての建物		

着色なし(浸水想定なし) → 想定以上の降雨もあり得るので注意してください。

## 避難行動のポイント

危険が近づいたらすぐに安全な避難所等に避難することが大切です(水平避難)。しかし、避難している最中に被害にあう可能性もあります。

下記の項目に一つでも当てはまる場合は無理に外に出ず、少しでも高いところに避難し、命を守る最低限の行動をとりましょう(垂直避難)。



水道や電気・ガス・トイレなどが3日~1週間以上使えなくなることもあります。十分な準備と長期間孤立してしまうことの覚悟が必要です。



高い建物でも、浸水が及ぶ高さにとどまっていたら危険です。建物の上層階など、浸水から安全に身を守る場所へ避難しましょう。

### 立ち退き避難

- ① 避難場所・避難所への移動
- ② 避難場所・避難所以外の安全な場所(親戚や友人の家等)への移動
- ③ 近隣の高い建物、強度の強い建物等への移動

### 屋内垂直避難

- ④ 建物内のより安全な場所(高い場所など)への移動とその場所での待機

立ち退き避難の前に、以下の項目をチェックしてみましょう。

- 夜間で避難路上の危険個所がわかりにくい。
- 避難路に崩れそうな斜面がある。
- 避難所までにひざ上以上(50cm以上)に浸水しているところを通らなければいけない。
- 浸水は浅い(20cm程度)が、水の流れがはやい。
- 避難路に蓋のない用水路があり、位置がわからない。